

協議会の検討状況について

令和7年10月3日
林野庁

ウッド・チェンジ協議会のこれまでの活動

令和3年
9月

【第1回本会合】（令和3年9月13日）

- ・木材利用について各界における取組の発表、意見交換
- ・会合で挙げられた課題等を踏まえ5つの小グループで検討を実施することを決定。

小グループ会合を随時開催

令和4年
5月

【第2回本会合】（令和4年5月16日）

- ・小グループの成果報告
- ・関係省庁からの報告



9月

【第3回本会合】（令和4年9月30日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告

令和5年
6月

【第4回本会合】（令和5年6月5日）

- ・小グループの成果報告
- ・関係省庁からの報告



10月

【第5回本会合】（令和5年10月2日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告

小グループ会合を随時開催

令和6年
6月

【第6回本会合】（令和6年6月6日）

- ・小グループの成果報告
- ・関係省庁からの報告



9月

【第7回本会合】（令和6年9月25日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告

令和7年
10月

【第8回本会合】（令和7年10月3日）

- ・小グループの成果、検討状況の報告
- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表



非住宅・中高層の木造化の状況

■ 低層(3階以下) 非住宅建築物の床面積の木造率

平成29 (2017) 年時点

用途・種類等	500㎡未満	500～3000㎡未満	3000㎡以上	合計
事務所	39%	7%	4%	22%
店舗	31%	2%	0%	9%
工場及び作業所	21%	2%	0%	3%
倉庫	20%	2%	0%	5%
病院・診療所	67%	12%	15%	37%

資料：国土交通省「建築着工統計調査」(平成29(2017)年)に基づいて林野庁作成。

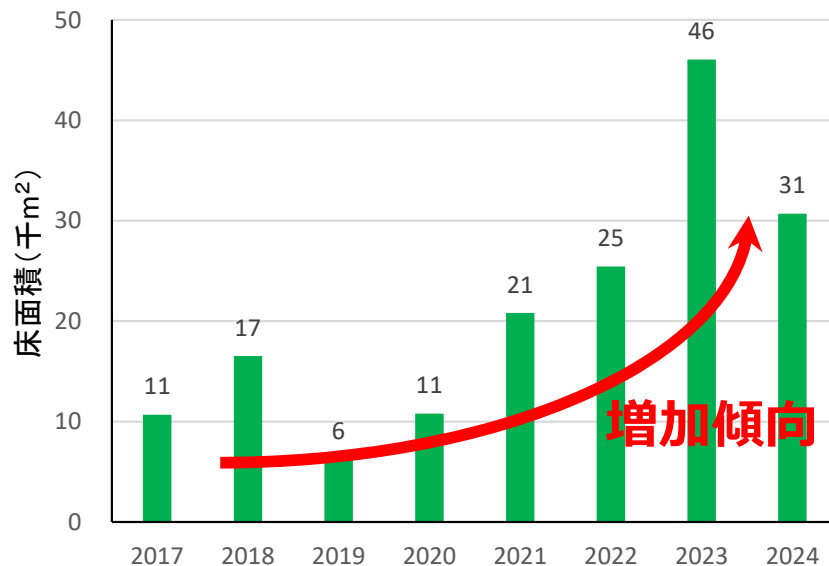
令和5 (2023) 年度時点

用途・種類等	500㎡未満	500～3000㎡未満	3000㎡以上	合計
事務所	47% ↗	7%	0%	24% ↗
店舗	41% ↗	2%	0%	7% ↘
工場及び作業所	26% ↗	2%	0%	3% —
倉庫	21% ↗	2%	0%	3% ↘
病院・診療所	71% ↗	20%	8%	45% ↗

資料：国土交通省「建築着工統計調査」(令和5(2023)年度)に基づいて林野庁作成。

木造率が伸びていない

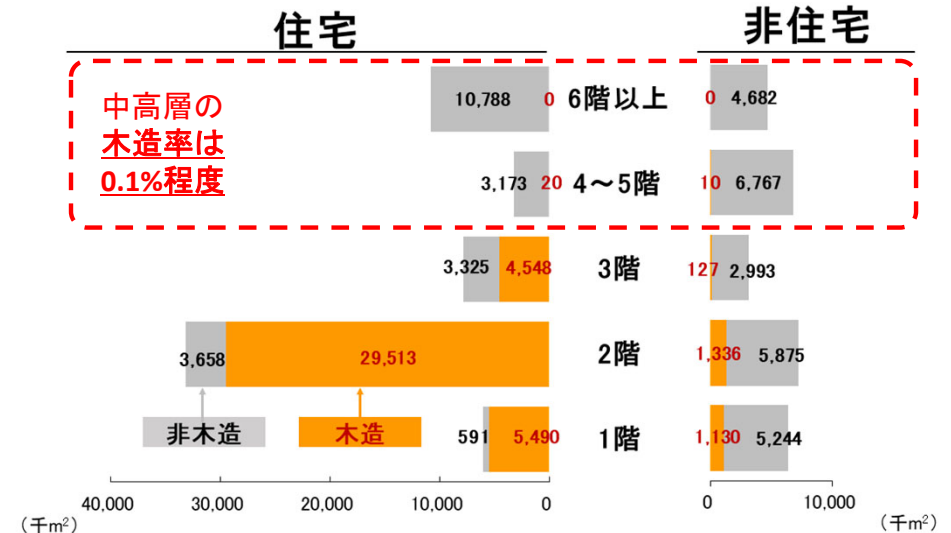
■ 着工した中高層木造建築物の床面積の推移



資料：国土交通省「建築着工統計」を基に林野庁作成。

注：新築のみ(増築及び改築を含まない)。

■ 用途別・階層別・構造別の新築着工建築物の床面積



資料：国土交通省「建築着工統計調査」(令和6(2024)年)に基づいて林野庁作成。

注：「住宅」とは居住専用住宅、居住専用準住宅、居住産業併用建築物の合計であり、「非住宅」とはこれら以外をまとめたものとした。

注：「新築」のみについて集計しているため、左図「建築物の木造率の推移」の木造率とは一致しない。

ウッド・チェンジ協議会小グループの構成メンバー

	木材利用環境 整備G	情報発信G	低層小規模 建築物G	中規模ビルG	高層ビルG
主査			大橋好光 東京都市大学 名誉教授	山代悟 芝浦工業大学 教授	
施主	日本マクドナルド(株)、 (株)セブン-イレブン・ジャパン、 三菱地所(株)	東京海上日動火災保険(株)、 三菱地所(株)、 中央日本土地建物(株)、 ヒューリックグループ	日本マクドナルド(株)、 三菱地所(株)	中央日本土地建物(株)、 ヒューリックグループ、三菱地所(株)	中央日本土地建物(株)、 東京海上日動火災保険(株)、 ヒューリックグループ、三菱地所(株)
設計 事業者 ・団体	(株)日建設計、 (公社)日本建築士会連合会	(株)久慈設計		(株)久慈設計	(株)日建設計
建設 事業者 ・団体	(株)大林組、(株)シェルター、 住友林業(株)、(株)竹中工務店、 東急建設(株)、前田建設工業(株)、 ライフデザイン・カバヤ(株)、 (一社)住宅生産団体連合会、 全国建設労働組合総連合	(株)大林組、住友林業(株)、 (株)竹中工務店、前田建設工業(株)、 東急建設(株)	(株)シェルター、住友林業(株)、 (株)竹中工務店、東急建設(株)、 ポラス(株)、ライフデザイン・カバヤ(株)	(株)大林組、(株)シェルター、 住友林業(株)、(株)竹中工務店、 東急建設(株)、前田建設工業(株)、 ライフデザイン・カバヤ(株)、 鉄建建設(株)	(株)大林組、(株)シェルター、 住友林業(株)、(株)竹中工務店、 東急建設(株)、前田建設工業(株)、 (一社)日本建設業連合会
木材 供給 事業者 ・団体	SMB建材(株)、ナイス(株)、 全国森林組合連合会、 (一社)全国木材組合連合会、 (一社)日本林業経営者協会	ナイス(株)、 (一社)全国木材組合連合会	中国木材(株)、SMB建材(株)、 ナイス(株)、銘建工業(株)、 (一社)中大規模木造プレハブ技術協会	中国木材(株)、SMB建材(株)、 ナイス(株)、銘建工業(株)、 (一社)全国木材組合連合会	銘建工業(株)
関係 団体	(公社)経済同友会、 日本商工会議所、 ウッドソリューション・ネットワーク、 (公財)日本住宅・木材技術センタ ー、 (一社)日本ウッドデザイン協会	ウッドソリューション・ネットワーク、 (公財)日本住宅・木材技術センタ ー、 (公財)国際観光施設協会		ウッドソリューション・ネットワーク、 (公財)国際観光施設協会	(一社)日本ビルディング協会連合 会、 (一社)不動産協会、 (公財)日本住宅・木材技術セ ンター
行政 団体	全国知事会、全国市長会、 全国町村会、 みなと森と水ネットワーク会議	全国知事会	全国知事会	全国知事会	全国知事会
研究 機関	(国研)森林研究・整備機構 森林 総合研究所	(国研)森林研究・整備機構 森林 総合研究所	(国研)森林研究・整備機構 森 林総合研究所	(国研)森林研究・整備機構 森林 総合研究所	
関係 省庁	国土交通省	国土交通省	国土交通省、林野庁	国土交通省、林野庁	国土交通省
オブザ ーバー	(一社)九州経済連合会	(一社)九州経済連合会	(一社)九州経済連合会	(一社)九州経済連合会	(一社)九州経済連合会
事務局	林野庁	林野庁	(公財)日本住宅・木材技術セン ター	(公財)日本住宅・木材技術セン ター	林野庁

木材利用環境整備グループの取組

グループの目的

○川上から川下の関係者の連携や、ビジネスの中での木材利用促進等について検討

課 題

○木材利用促進の環境を整備するため、実物件において関係者がどのように連携してきたのかを見える化し、これから木造化に取り組もうとする設計者、施工者の参考となる情報を提供していく必要

過去1年の取組

- ・「飛騨市」や「株式会社飛騨の森でクマは踊る」を招き、広葉樹の流通の仕組みを変える取組について情報提供
- ・建築物での木材利用を促進するための川上から 川下までの連携事例集に新たな事例を追加し公表

今後の取組

- 実物件による川上、川中、川下の連携事例を会員から収集
- 事例を取りまとめ、ホームページへ公表するなど広く情報を展開

今後のスケジュール(予定)

第2回会合：来年1月頃
HP公表 //

情報発信グループの取組

グループの目的

- 建築主等へ木材利用を訴求するため、木の良さや効果等についての事例の収集や、情報発信方法について検討

課 題

- 建築主等へ木材利用を訴求するためには、心理面や身体面のほか、生産性や経済面等の多様な面からの事例を整理して普及することが必要

過去1年の取組

- 建築物の内装木質化の効果について、様々な用途の事例とともに、心理面、身体面、生産性、経済面等、多様な側面での木材の良さを最新の知見も踏まえて整理し、普及

今後の取組

- これまでに収集・整理した木の良さや効果についての普及資料の周知を進めるとともに、更なる事例の収集や普及方法等について検討

今後のスケジュール(予定)
令和7年11月頃

低層小規模建築物グループの取組

グループの目的

- 木造化が進んでいない非住宅の木造低層小規模建築物について、木造化モデル等を活用して木造化を普及するための取組を検討

課 題

- 木造低層小規模建築物の主な担い手として期待される地域の工務店等は、非住宅建築における施工の経験が少ないため、地域の工務店等による非住宅低層小規模建築物の木造を実現する必要

過去1年の取組

- 非住宅の施工現場等で必要な発注主体や施工方式等を考慮した実用性の高い木造低層小規模建築物の施工管理図書の様式(ひな形図書)を作成し普及

今後の取組

- 準耐火建築物を前提とした小規模な高齢者福祉施設等のモデル設計、普及資料の作成を検討
- 上記の成果に関する普及セミナーを開催

今後のスケジュール(予定)

第2回会合:10月頃
第3回会合:来年1月頃
セミナー開催:来年2月頃

中規模ビルグループの取組

グループの目的

- 木造化が進んでいない中規模ビルについて、建設の担い手や建築主等への訴求を意識した木造化モデルを作成し、その普及に向けた取組を検討

課 題

- 木造の中規模ビルの経験がない地方の建設会社等に木造化に取り組んでもらうため、標準的な木造化モデル等の充実やその普及が必要

過去1年の取組

- 中スパン型中規模ビルの木造化標準モデルを作成・普及
- 店舗等用途の中規模ビル木造化モデル案を作成・普及
- 3階建て、4階建て事務所の木造化標準モデルの充実・普及

今後の取組

- 木造4階建耐火構造の事務所の標準モデルの設計マニュアルの作成の検討
- 中層木造軸組モデルを用いた高齢者福祉施設のモデル案等の作成の検討
- 上記の成果に関する普及資料の作成とセミナー開催

今後のスケジュール(予定)

第2回会合:10月上旬

展示会開催:11月頃

第3回会合:来年1～2月頃

セミナー開催:来年2月頃

高層ビルグループの取組

グループの目的

- 建築主等に対して都市部の建築物における木材利用の魅力・可能性を訴求していくため、高層木造ビルに関する事例集の作成等による普及活動により高層建築物での木材利用を促進

課 題

- 高層ビルの木造化が継続的な取組となるようこれまで取り組んだことのない事業者や過去に取り組んだものの、近年、取組の無い事業者に対し訴求していく必要
- 過去の事例を振り返りつつ、今後の展開に繋げていく必要

過去1年の取組

- 高層木造ビル事例集巻末に高層ビルの木材利用量や炭素貯蔵量を明示し公表
- 過去に高層木造ビルに取り組んだゼネコンやデベロッパーへインタビュー実施しホームページに公表

今後の取組

- 最新の高層ビルの事例を収集
- 設計者等へのインタビューを実施
- 林野庁ホームページへ公表

今後のスケジュール(予定)

- 第1回会合: 令和7年11月頃
- 第2回会合: 令和8年 1月頃

令和7年度 ウッド・チェンジ協議会の全体スケジュール(予定を含む)

会合名	R7 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会合							★ 3日					
木材利用環境 整備G			★ 30日							★		
情報発信G								★				
低層小規模 建築物G				★ 15日			★ 15日			★	★ セミナー	
中規模ビルG				★ 7日			★ 9日			★		★ セミナー
高層ビルG								★		★		